

先進の機器を導入し、医師の高い技術と  
技師などとの連携が高度医療と救急を実現。

埼玉県さいたま市の三愛病院は、同県唯一の「さいたまガンマナイフセンター」を2004年に開設するなど先進の機器と技術を積極的に導入。技師など専門スタッフとの緊密な連携によって、高度な診断や治療はもちろん、24時間365日の救急体制で地域に貢献している。

さいたまガンマナイフ  
センターで、3278症例  
(2004年9月～2011年9月)  
の患者様を治療

三愛病院では、今年8月に最新型のガンマナイフ「パーフェクション」を導入した。ガンマナイフとは、脳腫瘍などを対



医師 四方聖二  
ガンマナイフセンター脳神経外科部長  
よも・しよしよ / 1997年信州大学医学部卒業。07-08年Timone大学病院(仏)勤務。09年三愛病院勤務。東京女子医科大学非常勤講師。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医。

象として、頭部の周囲に192ヶ所からガンマ線を集中して照射する放射線治療装置である。頭部にフレームを取り付けて、0.05mmの精度で照射計画を行っている。これは他の放射線治療と比較しても群を抜く治療精度である。これまでに3000症例以上を手がけてきたが、今回の「パーフェクション」は治療計画の自由度が飛躍的に高まり、病変部の集中精度も向上したという。

「治療可能域が約3倍に拡大したので、脳だけでなく耳鼻科的な部位の



▲従来のガンマナイフに比べ治療域が拡大するとともに、1回で複数の転移部分の治療も可能になった。

◀頭部を入れる照射内部が300%拡大。ひし形から棒状まで種々の放射形状を選択できるようになったため、従来に比べ、腫瘍外正常脳神経への過照射を防ぎやすくなった。

悪性腫瘍などの治療も可能になるでしょう。今まで治療が困難だった大きな腫瘍も寡分割照射で対応が可能となり、実際の照射は完全にシームレスとなり病変の程度にもよりますが、30分ほどで済むことも少なくありません。かなりの時間短縮が可能となりました。この新型では治療計画もコンピュータがある程度は作ってくれるので、医師の負担も軽くなりま

した(四方聖二医師)とはいつても、ガンマナイフが万能というわけではなく、外科手術や化学療法など、患者の病変や状態に適した選択や組み合わせが不可欠という。「脳腫瘍の場合は他のがんから転移が多く、気づかないうちに脳に転移していることもあるので、やはり早期発見が大切です。その意味では三愛病院には先進の検査機器が導入されているほか、技師の検査技術も高いので、患者さんには心強い病院だと思っています」(四方医師)

医師と技師が、**緊密にコミュニケーション**

MRIやCTなど検査機器も最新型を導入しているのが同病院の特長であり、今年8月には「パーフェクション」と同時にフィリップス社製1.5テスラMRI(32チャンネル仕



理事長 濟陽輝久  
わたよう・てるひさ / 1975年東邦大学医学部卒業。78年まで同大学整形外科で勤務。日赤医療センター麻酔科、慶子中央病院勤務を経て、85年に三愛病院設立。97年医療法人社団松弘会理事長。

放射線技師 鈴木誠  
すずき・まこと / 1994年東京都立医療技術短期大学診療放射線学科卒業。1994年東京女子医科大学放射線科診療部に入職。2002年4月白岡中央総合病院入職。2004年2月三愛病院入職。

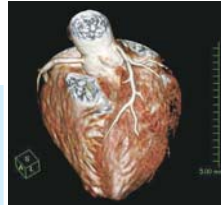
医師 平澤研一  
ひらさわ・けんいち / 1990年、香川大学医学部卒業。2009年、三愛病院に勤務。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医。

副院長 猪野裕通  
いの・ひろみち / 1988年滋賀医科大学卒業。1988年東京女子医科大学勤務。1996～1998年アカンゾウ立医科大学脳神経外科留学。2008年4月三愛病院勤務。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医。

した装置は従来のものより、S/Nを保ちつつ高分解能・短時間に撮像が可能です。また、32チャンネル仕様ということで、高速撮像にも対応できます。初期のコイルと比較し格段に撮像時間は短縮し、2～5分と従来のおよそ3分の1くらいです。」

四方先生が少し触れたようにこれを扱う技師の能力は高く、診断画像の「所見」にも優れているという。

「この分野は医師よりプロです。技師のアドバンスで無駄な検査をカットしたり、隠れた病変や



▲造影剤なしで心臓を描出。心臓血管の検査に有効。

2～5分程度で頭部、胸部を撮像可能なMRI1.5テスラ

救急対応  
24時間・365日の、こうした新機器と、医師と技師など専門スタッフの連携を集約したのが同病院の救急体制だ。24時間・365日に渡って、夜中でもCTやMRIで検査できる。

「医師には医療秘書がついています。この秘書と看護師、技師などのパラメディカルが主

石灰化も見逃さない。緊急の場合は日曜や祭日でも心臓や脳などのアゼ社製の画像処理装置で3次元画像を作成して、医師のケータイに迅速にメールするようになっています」(濟陽輝久理事長)

この理由は「技師と専門医が密接にコミュニケーションしているからです」と辻直基放射線技師は語る。同病院では撮影した画像と所見をPACS(ピー・エス・ピー)社製で共有している。また提携クリニックの画像もすべて保存しているのだが、この時に甘さや間違いがあれば手厳しく指摘される。「毎日が症例会議みたいなもので、最新情報の読み込みや勉強は欠かせません」という。

体性に富みどんな判断していただくため様々な場面で医師の負担が軽減され、大病院並みに救急車を受け入れることができていると思います。」と平澤研一救急部長は語る。

「救急でも常時質の高いチーム医療を提供できること、ワンストップで医療を完結できる設備と人材が揃っていることが、救急隊からの信頼にもつながっていると思います。」(猪野裕通副院長)

「当院は、アメリカの代表的な心臓血管病院AHD(アークソール・ハート・ホスピタル)と提携した心臓血管センターも開設しました。患者さんの満足度をアップするためスタッフの研修を行い、一層の循環器系の充実を努めます」(濟陽理事長)

「最新型MRIを活用して、従来の脳ドックに加え、新たに心臓ドックや前立腺検査のメン

ズドック、それに予防医療も展開したいですね」(石井忠技師)

「当院の理念である、三愛とは、患者さん、地域、そして医療への奉仕を意味しています」と濟陽理事長は語る。これからも基幹病院として、その役割はますます広く、かつ重要になってきたといえよう。



技師 大塚忠義  
おおつか・ただよし / 1988年東京電子専門学校診療放射線学科卒業。93年東京理科大学物理学卒業。埼玉県立がんセンター放射線診断部を経て、11年三愛病院に勤務。放射線科部長補佐。

技師 石井忠  
いしい・ただし / 1982年、中央医療技術専門学校卒業。2010年、三愛病院に勤務。健診部長。

技師 辻直基  
つじ・なおき / 1989年、金沢大学医療技術短期大学診療放射線技術学科卒業。同年、三愛病院に勤務。放射線科主任。地域医療連携室室長。

HOSPITAL DATA



医療法人社団松弘会  
三愛病院

所在地 埼玉県さいたま市桜区田島4-35-17  
電話 048-866-1717 (代)  
FAX 048-866-1865

診療科目

外科、整形外科、脳神経外科、内科、循環器内科、消化器内科、消化器外科、リハビリテーション科、放射線科、形成外科、呼吸器科、泌尿器科、麻酔科(長野治和)、歯科、リウマチ科、皮膚科、心臓血管外科



▲ワークステーションの動画が見られます。

診療時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00  
土曜日 9:00～12:00  
休日 日・祝日、年末年始(12/31～1/3)  
http://www.sanai.or.jp